

イベント一覧の表示と、 そこからイベントの開催場所を教えてくれる機能

Ver1.0

概要

学生に成長のキッカケを提供するというコンセプトで、新たに大学で行われている学生の活動や大学が開いている公開講座、講演会などを閲覧できるようにできないかと考えた。

また、学生が探しやすいようにメニューからの「イベント一覧」の表示と、検索から「イベント」と入力すると開催場所にピンが打たれ、文字ではなく絵として探せるようにしたいと考えた。

イメージ



- ① 「メニュー」をクリックする
- ② メニューが開き、項目が表示
- ③ 「イベント一覧」をクリック
- ④ イベント一覧を表示する
- ⑤ 「URL」を選択→リンクに飛ぶ

⑥ 「イベント名」をクリックする。

イベントを選択した後の画面



⑦ 開催場所にピンが押される

- ⑧ イベントのピンをクリックする
- ⑨ イベントの情報が出てくる

設計概要

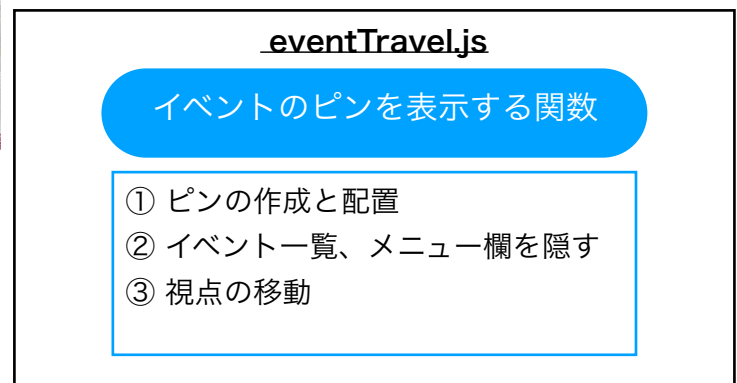
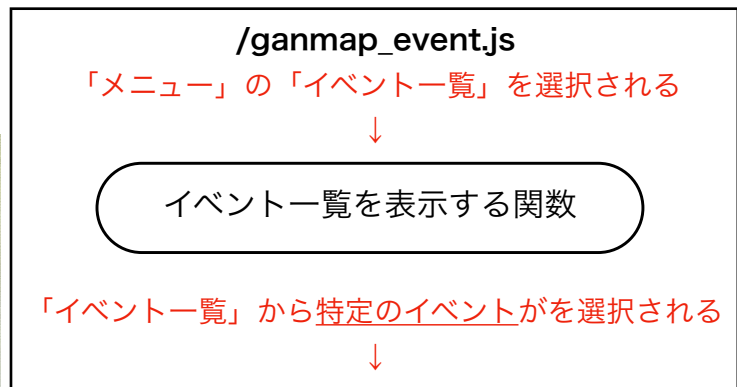
上記イメージの⑥（イベント一覧の表示とクリックできるところ）
までは、ハウルが作成済みなので、イベント名が選択された後の関数について。

fakedataBase /eventData.js

```
module.exports = {
  eventDatabase: function(req, res){
    return eventDatabase = [
      {
        "eventName": "いわて盛岡シティマラソン2019",
        "eventDate": "2019/10/27",
        "eventLocation": "岩手大学スタート",
        "eventUrl": "https://iwate-morioka-city-marathon.jp",
        "eventTime": "9:00-",
        "eventCoordinate": "1385,1794"
      },
      {
        "eventName": "次世代育成サポーター養成講座",
        "eventDate": "2019/07/31 2019/09/28 2019/09/30",

```

↑ オブジェクト (一部)



設計の詳細

イベントのピンを表示する関数

関数名は「event_pi」にする

① ピンの作成と配置をする

1、イベントのオブジェクトから、「イベントの名前」、「イベントの開催日」、
「イベントの開催時間」、「イベントの開催場所」、「イベントのURL」からピンを作成する。

* イベントピンのデザインは教室との違いが別るように、「customIcon3」を使用する。

* ピンが押されても、視点がズレないようにする事

2、オブジェクトの「イベントの座標」にピンを配置する。

cosutomIcon3 →
(/travel.jsで定義)



② ピンが見えやすいように、イベント一覧、メニュー欄の2つを隠す操作をする

1、「イベント一覧」を隠す (関数は 参照)

2、「メニュー」を隠す (関数は 参照)

③ 視点の移動をする

1、オブジェクトの情報から「イベントの座標」に視点を移動する。

(視点がズレないように座標変換を加える必要があるかも)